

## 口永良部島防災強化委託業務仕様書

### 1 委託業務名

口永良部島防災強化委託業務

### 2 業務目的

屋久島町口永良部島地域では、平成27年5月の新岳噴火に伴う全島避難により、避難経路に目印がなく道に慣れていない人の避難に支障をきたすという点や、夜中や視界の悪い状況では街灯が著しく少ないため、初めて島を訪れた人が避難経路を十分に把握できていない点、避難豪そのものの存在が認知されていない点など、これまでの避難訓練では見いだせなかった新たな課題が発生している。

そこで本町は、このような課題を解消し口永良部島地域の安心安全を確保することを目的とした総合的な防災強化事業「口永良部島防災強化事業（防災強化委託業務、位置情報アプリケーション開発委託業務、防災啓発映像制作委託業務の3業務の総称）」を実施する。

口永良部島防災強化委託業務では、ワークショップの実施やパンフレット、防災マップ、総合案内看板の制作により、住民の防災意識の向上と従来の防災システムの強化を行う。

### 3 業務内容

#### (1) 防災ワークショップの実施と冊子若しくはパンフレットの作成

防災や自然災害、集落ネットワーク、コミュニケーションをはじめとする様々な知識やノウハウを有する有識者や専門家が、口永良部消防団や一部住民と共に本地域の防災の盲点を明るみに出し、今後の災害を想定した防災システム強化の計画を立てる。なお、この計画は別途作成する「屋久島町地域防災計画」及び「口永良部島噴火災害復興計画」の内容と齟齬の無いようにする。成果については冊子若しくはパンフレットの形に落とし込み、関連施設や関係者各位に配布する。

#### (2) 避難経路観光案内板付外灯の設置箇所検討

防災ワークショップの中で、多種の災害を想定した避難経路の見直しを行い、視界不良時や土地勘がない人の避難誘導に役立つ多目的外灯の設置箇所を検討する。外灯については、災害に伴う停電時にも対応可能なソーラーパネル式等を用い、サイン表示及び写真による施設案内等を盛り込んだデザインとすること。

#### (3) 防災マップの制作

防災ワークショップで明らかになった課題を考慮して、避難経路・観光案内板付き外灯の設置箇所や、同時期に制作される予定の位置情報アプリケーションとリンクした防災マップの制作を行う。また、完成したマップは「屋久島町地域防災計画」第4編火山災害対策内に示す2種類のマップとしても使用するため、Word文書に対応可能な形式で作成する。

#### (4) 総合案内看板の設置

屋久島町役場口永良部島出張所前の現観光案内看板は情報が更新されておらず、火山

についての情報がほとんど記載されていない。観光客の安全確保のために防災情報の周知と観光案内の役割を担う総合案内看板の制作、設置を行う。

#### **4 成果物**

- ① 防災関連冊子若しくはパンフレット 500部
- ② 防災マップ A3版 200部
- ③ 防災マップ 電子データ版（著作権は屋久島町に帰属）
- ④ 口永良部島出張所前総合案内看板

#### **5 留意事項**

- ・ワークショップは屋久島町口永良部島で開催するため、別紙スケジュールを参考に、最低でも計5回来島すること。
- ・書類や成果物等の送付、運搬に係る費用については受託業者が負担すること。